

教団新報

定 価 1部 140円 (本体 133円 千共 200円)
予約購読料 1年分 千共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
E-mail:shimpoh-c@uccj.org
発行人 竹 前 昇
編集主筆 竹 澤 知 代 志
印刷所 株式会社きかんし

教区総会報告

北海・大阪・京都・九州・四国

光は、闇の中に輝き出で

日本全土を覆う暗雲が、教団の頭上より濃いものとなり、逼塞感が私たちを捕えている。闇の中、足下を確かめつつ一歩ずつ歩むのが精一杯で、将来を展望すると不安になる。しかし、一方では、各教区の真摯で具体的な取組が始められている。効果が見えるのは随分先のことも知れないが、「あな

「連帯」への祈りのうちに

北海

五月二日・三日、札幌教会を会場に北海教区第66回定期総会が開催された。「実を結はせる枝として」と題する説教に導かれた開会礼拝において、清水信浩(名寄)、三浦亮平(栗山)両教師の按手式と梅田憲章(札幌中央)、中田美歌(滝川二の坂)両教師の准允式が執行された。開会礼拝に引き続き、西東京教区との宣教協約締結式が行われた。これは、昨年の両教区の総会において

五月二日・三日、札幌教会を会場に北海教区第66回定期総会が開催された。「実を結はせる枝として」と題する説教に導かれた開会礼拝において、清水信浩(名寄)、三浦亮平(栗山)両教師の按手式と梅田憲章(札幌中央)、中田美歌(滝川二の坂)両教師の准允式が執行された。開会礼拝に引き続き、西東京教区との宣教協約締結式が行われた。これは、昨年の両教区の総会において

【信徒】北川健一(札幌元町)、板谷良彦(札幌北部)、山ノ内廣子(手稲はこぶね)、竹村泰子(札幌北光、鈴木順一(美唄)、相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光、島田繁明(帯広) 教区常置委員選挙結果(半数改選) 【教職】秋山千四郎(北見望ヶ丘)、ロバート・ウィットマー(興部)



西東京教区・北海教区宣教協約締結式

荒野声

茨木春日丘、西口省三(豊中)、水上信也(大阪淡路、東谷誠(教団部落解放センター)、田川久美(富連自由、山崎喜美子(愛隣) (佐藤成美報)

悲鳴を上げる。それ程に痛い。寝返りを打つ時に、自然、布団を持ち上げる、その度に激痛が走る。当然目が覚める。目が覚めると、自然、いろいろとよもやまごとを考えて寝付けぬ。当然、寝不足になる。困ったことだ。▼ビンのふたをねじっただけで激痛。そこで工夫をする。左手を支えに、右手でねじる。痛い。逆にする。もった痛。意外な発見をする。誰もが、利き腕ではない方で支え、利き腕で細工する。ところが、利き腕よりも、そうではない方に力がかかっているのだ。▼

憲法第9条「改正」反対建議採択

大阪

第51回大阪教区定期総会は五月三日(水)〜四日(木)にかけて、大阪女学院ヘールチャペルにおいて開催された。三日の開会時には正議員総数二九〇名中二三五名の出席があり、教区規則第十八条に従い総会は成立した。今総会において承認、並びに可決された主な議案は次の通りである。第一目。『二〇〇五年度決算承認に関する件』、賛成多数で承認。第二目。『日本基督教団と沖繩教区との関係回復に関する件』、質疑の後採決され、議員数一五五名中賛成九一名で可決。また、総会第一目に関

【大阪教区第51回総会】は日本国憲法第9条「改正」を反対する」が建議として提出され、建議請願審査委員会において審査された後、第二目目に建議として採択された。来賓挨拶としては、第一日目に在日大韓基督教教会関係の鄭然元(ちよんえん)会長、教団出版局の秋山徹出版局長、教団年金局の糸本資理事から挨拶を受けた。また、第

【教職】向井希夫(大阪聖和)、村山盛芳(浪花)、岡村恒(大阪)、市川忠彦(長居、田邊由紀夫(茨木、似田兼司(千里丘、伊勢富士夫(天満、浅見寛(枚岡)、青戸宏史(和歌山)、石黒悦雄(堺)、小林望(大阪泉尾、佐藤成美(高槻)、森田喜之(いずみ、小林よう子(箕面、館山英夫(大阪淡路) 【信徒】大見川昭子(大阪、渡部清数(扇町)、楠原道温(茨木)、糸本資(石津、江本義一(茨木東、丸山健樹(和歌山)、池田和弘(浪花、油谷武雄(堺)、山田淳子(大阪聖和)、今井正太

たが、質問者の思いと議長

「宣教連帯」で協議会、具体化へ

京都

第70回京都教区総会は、五月三・四日の両日、洛陽教会で正議員一五七名中、開会時一三名が出席して開催された。

佐原英一議長が三月、健康上の理由から辞任したため、望月修治副議長が議長代行として議事を進め、議長報告を行った。教区の抗議と要望に対して教団常議員会が無視するという、強権的な姿勢に対抗し、昨年に引き続き、今総会も教団問安使を拒否したことが報告された。また、議長報告の質疑から、山北宣久議長の教区総会への挨拶の(2)「正しい聖礼典の執行」、(3)「合同のとらえなおし」を巡って、厳しい抗議が出され、抗議文を作成し教団宛てに送付する事が常置委員

会に付託された。議長、副議長選挙が行われ、議長に望月修治氏(天津)、副議長に井上勇一氏(洛南)が選出された。書記には、大澤宣氏(紫野)が選任された。期間は、残り期間の一年。

一日目の夜「宣教連帯」について協議会が持たれた。議案「准允式、按手礼執行に関する件」では、教師問題に関して多くの意見が出された後、可決され、二日目午前執行された。

午後、次の議案四件が可決された。

(1)同性愛者差別問題への取り組みを推進する件、(2)日本基督教団京都教区と韓国基督教長老会大田老會との祈りの課題に関する件、(3)日本の憲法「改憲」の動きが強まる中で、その内容を憂慮し京都教区としての態度を表明する件、(4)米軍基地再編強化に抗議する声明

に関する件。

建議から一件「教育基本法「改正」案に反対する決り組みを推進する件、(2)日本基督教団京都教区と韓国基督教長老会大田老會との祈りの課題に関する件、(3)日本の憲法「改憲」の動きが強まる中で、その内容を憂慮し京都教区としての態度を表明する件、(4)米軍基地再編強化に抗議する声明

に付託された。(1)准允・按手とそれらの執行方法に関する件、(2)教区内一教会の問題について。

一日目の午後、第35回教団総会議員選挙に関する件では、長時間議論が交わさ

れた。沖縄教区と連帯を表明し、問安使拒否をしている教区であることを覚えて、今後議論をしていくという議長発言の後、可決され、次の議員を選出。

【教職】望月修治(大津)、井上勇一(洛南)、大澤宣(紫野)、府上征三(洛陽)、一木千鶴子(丹波新生)、谷村徳幸(水口)、美藤章(近江八幡)、入治彦(京都)、

関雅人(大津東)、山田真理(上鳥羽)

【信徒】志賀勉(紫野)、谷口ひとみ(八幡ぶどうの木)、原田潔(大津東、奥野力ネコ(膳所)、平田真貴子(平安、谷本芳子(近江平安、田中義久(洛西)、造田弘司(水口)、谷岡孝子(紫野)、中井正子(堅田)

(新報編集部報)

今総会の重要案件の一つとして、常置委員会に付託となっていた「宣教連帯教職謝儀補助基準」(デナリオン献金)の推進に関する件について、常置委員会は宣教連帯検討小委員会を設置し、成案を作るべく活動をしてきた。その結果、06年度より暫定期間を三年として「宣教連帯教職謝儀補助新暫定基準」でもって宣教連帯を実施していくこととなった。この件を更に総会において共有するため、

今総会の重要案件の一つとして、常置委員会に付託となっていた「宣教連帯教職謝儀補助基準」(デナリオン献金)の推進に関する件について、常置委員会は宣教連帯検討小委員会を設置し、成案を作るべく活動をしてきた。その結果、06年度より暫定期間を三年として「宣教連帯教職謝儀補助新暫定基準」でもって宣教連帯を実施していくこととなった。この件を更に総会において共有するため、

一日目の夜「宣教連帯」について協議会が持たれた。議案「准允式、按手礼執行に関する件」では、教師問題に関して多くの意見が出された後、可決され、二日目午前執行された。

午後、次の議案四件が可決された。

(1)同性愛者差別問題への取り組みを推進する件、(2)日本基督教団京都教区と韓国基督教長老会大田老會との祈りの課題に関する件、(3)日本の憲法「改憲」の動きが強まる中で、その内容を憂慮し京都教区としての態度を表明する件、(4)米軍基地再編強化に抗議する声明

に関する件。

建議から一件「教育基本法「改正」案に反対する決り組みを推進する件、(2)日本基督教団京都教区と韓国基督教長老会大田老會との祈りの課題に関する件、(3)日本の憲法「改憲」の動きが強まる中で、その内容を憂慮し京都教区としての態度を表明する件、(4)米軍基地再編強化に抗議する声明

に付託された。(1)准允・按手とそれらの執行方法に関する件、(2)教区内一教会の問題について。

一日目の午後、第35回教団総会議員選挙に関する件では、長時間議論が交わさ

れた。沖縄教区と連帯を表明し、問安使拒否をしている教区であることを覚えて、今後議論をしていくという議長発言の後、可決され、次の議員を選出。

【教職】望月修治(大津)、井上勇一(洛南)、大澤宣(紫野)、府上征三(洛陽)、一木千鶴子(丹波新生)、谷村徳幸(水口)、美藤章(近江八幡)、入治彦(京都)、

関雅人(大津東)、山田真理(上鳥羽)

【信徒】志賀勉(紫野)、谷口ひとみ(八幡ぶどうの木)、原田潔(大津東、奥野力ネコ(膳所)、平田真貴子(平安、谷本芳子(近江平安、田中義久(洛西)、造田弘司(水口)、谷岡孝子(紫野)、中井正子(堅田)

(新報編集部報)

「奄美伝道50年」主題に研修会

九州

第56回九州教区総会は、五月三・四日、福岡市の九州キリスト教会館を会場に開催された。

総会開会礼拝の説教は小久保次郎牧師(久留米櫛原)により「成り立たない状況に立つ神」と題して行われた。

宣教協力している在日大韓基督教会西南地方会、宣教師協約を結んでいる韓国基督教長老会群山老会の皆様と聖餐式を共にできたのも喜びであった。

礼拝後、正議員一五〇名中一九四名、准議員二名の出席が確認され、開会が宣言された。

議案では次の二件が可決された。①受允者承認に関する件。議場での承認後、四名の准允式が執行された。

②次期九州教区宣教基本方針に関する件。来年の教区総会に向けて、宣教基本方針(二〇〇七・二六年度)案が示され、これをもとに検討に入ることが承認され

た。

小林眞教団問安使挨拶に対して質疑がなされた。セクシュアル・ハラスメントを起した教師に対する戒規適用についての再審請求拒否への抗議、教団総会議長の総括行為による戒規適用の要望が九州教区議長名の質問状として出された。

【教職】西畑望(大分)、深澤奨(佐世保)、布田秀治(鹿児島)、原和人(長崎銀屋町、梅崎浩二(犀川)、丸山邦明(喜界)、戸田奈都子(川



准允式後、受領者の紹介をする西畑望議長

第56回九州教区総会は、五月三・四日、福岡市の九州キリスト教会館を会場に開催された。

総会開会礼拝の説教は小久保次郎牧師(久留米櫛原)により「成り立たない状況に立つ神」と題して行われた。

宣教協力している在日大韓基督教会西南地方会、宣教師協約を結んでいる韓国基督教長老会群山老会の皆様と聖餐式を共にできたのも喜びであった。

礼拝後、正議員一五〇名中一九四名、准議員二名の出席が確認され、開会が宣言された。

議案では次の二件が可決された。①受允者承認に関する件。議場での承認後、四名の准允式が執行された。

②次期九州教区宣教基本方針に関する件。来年の教区総会に向けて、宣教基本方針(二〇〇七・二六年度)案が示され、これをもとに検討に入ることが承認され

た。

小林眞教団問安使挨拶に対して質疑がなされた。セクシュアル・ハラスメントを起した教師に対する戒規適用についての再審請求拒否への抗議、教団総会議長の総括行為による戒規適用の要望が九州教区議長名の質問状として出された。

【教職】西畑望(大分)、深澤奨(佐世保)、布田秀治(鹿児島)、原和人(長崎銀屋町、梅崎浩二(犀川)、丸山邦明(喜界)、戸田奈都子(川

祈り合い支え合いつつ歩む

四国

第64回四国教区定期総会は、四月二八日から二九日まで、高知教会を会場として開催された。議員一五四名中一二二名(開会時)が出席した。

開会礼拝・組織会の後、議長メッセージがなされた。野村忠規議長は、教区各教会は大変厳しい現状の中

で伝道の歩みを進めているが、このような時こそ、祈り合い支え合いつつ歩む教区の取り組みを進めていかなければならないと述べた。

第一日目は主に昨年度の報告がなされた。その中で、新たに発行される各教会を祈りに覚える冊子「祈ろう

四国教区の教会」について説明がされた。また、質疑の中で、昨年度の教区謝儀規定付表と付表の基となる公務員給与表の間に齟齬があったことについて丁寧な報告を求める意見が出され、互助の実施等での様な影響があったかを確認し各教会に報告することとな

った。

第一日目の議事後、祈り合う群れとしての教区」の主題で、協議会が行われた。高知中村教会(互助を新たに受けての地域への伝道の取り組み、西条教会(会堂建築、内海教会(定住の牧師の招聘)から、伝道報告がなされた。それぞ



佐原議長病氣辞任により新たに選出された三役



野村忠規議長の司式により准允式

宣教師からの声

互いに近づき、神へと近づく

ユージン・ホール

(合同メソジスト教会派遣宣教師)

テサロニケの信徒への手紙「2章8節」わたしはあなたがたをいとおしく思っていたので、神の福音を伝えるばかりでなく、自分の命さえ喜んで与えたいと願ったのです。あなたがたはわたしたちにとって愛する者となったからです。」

三年前、妻と私がシアトルから新潟に来た時、私たちはひとつの望みをもっていました。若い人たちにキリスト教を伝えることでした。

今年のはじめ一月十九日の朝八時半頃、大久保教会の牧師館が、隣家から出た出火によって延焼しました。幸い主任牧師川上善子先生と担任教師川上朝恵先生は、近隣の人たちの助けもあって、無事でしたが、お住まいを完全に失うことになりました。

この礼拝は音楽とITを用いています。アナウンスや歌は、パワーポイントで画面に文字を写し出し、メッセージを具体的にイメージさせるために映画の場面を用い、音楽は刺激的で高音量にし、私たちがやりたいと思うやり方で行っています。しかし、最も重要なことは、私たちが若者たちを包み込んでいるかということです。若者がバンドで演奏し歌っている。証しを分かち合っている。ゲームを指導している。一方で、若者たちは、彼らの活動の中にキリストのよみがえりを見る思いやりのある先輩、両親、指導者、牧師、その他の人々に囲まれています。

私たちはこれを始めたばかりなので、どのような結果になるか正確にはわかりません。しかし私たちはキリストの福音だけでなく、パウロがテサロニケの信徒への手紙の中でいっているように「青年たちは私たちにとって愛する者となったので、命さえ分かち合いたい」という情熱をもっています。

教団の方々が、日本の大切な青年たちへ同じ愛をもっていること、そして出来る限り多くの青年が神へ立ち帰る道を見出すことを見守るために労苦していることに、私たちは励まされています。

NYRの目標のひとつは、近しく、親しくなることです。互いに近づき、神へと近づく。他人との関わりを通して、私たちは真の共同体、そして真の友情を経験します。この過程のどこかで、神が介入し、若者たちは神との関わりを持ち始め、そ

新潟市は人口八〇万人以上。十三歳から二歳の青年はおおよそ七万五千人。実際にイエス・キリストの福音の素晴らしさをまだ聞いたことのない、若者たちです。私たちはここでは唯一の日本基督教団の宣教師ですが、神の国のために、自身の賜物を喜んで用いる数人の友がいます。

教会学校のプログラムが継続されている一方で、教会の若者との関わりに身を捧げる宣教や、教会に行っていない若者がキリストや教会に連なるための援助がほとんどないことに、私たちはすぐに気づきました。新しい何かが必要であると常に思わされていました。

「川上善子先生を支える会」からのお願い

大久保教会は、主日の礼拝だけは、近くの矯風会館を借りていますが、その他の活動は、牧師館である川上先生方のお宅を中心に行っていました。ですから、今回の被災で、大久保教会は教会の伝道活動の拠点を失った状態になりました。被災状況を知った東京教区北支区、矯風会をはじめ、婦人会連合関係の方々など、川上先生方と交わりのある諸団体・学校が、いち早く支援の手を差し伸べて下さり、お支え下さっております。

これらの支援活動に加えて、川上善子先生の神学校（東京神学大学）時代の同級生有志で、さらに支援の輪を広げようと、川上善子先生を支える会」を立ち上げました。この会は、同級生川上善子先生を支える支援会であると同時に、大久保教会の伝道活動の回復をも祈り支えることを目的とした支援会でもあります。大久保教会の牧師館であった川上先生方のお住まいは、借家であったために、被災以降の立ち退きを余儀

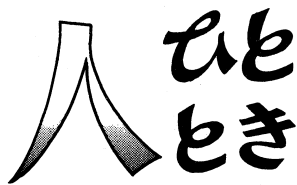
なされました。また、火災保険は一切おける見通しはありません。そのような状況の下で、教会活動を続けながら、懸命に新居を探されて、四月からは、前の牧師館に近いところに、新しい住まいを定められました。

また、被災したときに、家財道具や教会関係の物品、書籍、パソコンなどは、ほとんどが使用不能となりました。さらに、川上朝恵先生は、数年前から病氣療養中であれば、そのための医療・介護用品などの買い換えも必要です。新居に必要なとなった資金も含めた、費用の一切を考えますと、かなりの額が必要となります。

そこで、わたしたちは、「七百万円」という支援金の目標額を掲げました。すでに多くの支援団体が、支援を続けて下さっております。こんな言葉を書きながら、本堂に入ったが、仏教系の方は当然と言えは当然だが、仏像の前では無言で合掌（両手ではないが、右手を胸の所に持つてきて黙祷）さ

◎支援金の振込先は、
口座名「川上善子先生を支える会」
口座番号「001800778881」
(恐れ入りますが手数料はご負担願います)

◎問い合わせは、
道家紀一（井草教会内）
03-333951302
にお願ひします。



摩尼 昌子さん

ドルカスのお母さんと大家族



唐池学園・ドルカスベビーホーム施設長。藤沢北教会員。

使徒言行録9章に「タビター訳して言えばドルカス、すなわち「かもしか」と呼ばれる婦人の弟子がいた。彼女はたぐさんの善い行いや施しをしていた」とある。「やもめたちは皆そばに寄って来て、泣きながらドルカスが一緒にいたときに作ってくれた数々の下着や上着を見せた」という言葉に、ドルカスの人となりが窺われる。

なければならぬ理由は、家族の病氣と家庭生活を維持できない事情とに分けられる。不倫や虐待など、その時代にマスコミに取り上げられる問題が、必ずその時代の入所理由となってくるという。最近では、虐待によって障害を持つようになった子どもが増えている。

摩尼昌子さんは、このドルカスの名を冠した乳児院「ドルカスベビーホーム」の施設長として、新生児から二歳児まで二〇数名の子と暮らし生活と共にする。時代は超少子化。しかし乳児院で生活している乳児の数は一九六〇年代から変わっていない。乳幼児が施設で生活し

しかし、社会の歪みの中で生じている現象が、一番弱い子どもに反映した結果の入所です。したがって親にも責任があるとは言いがたき「一人ひとりの親たちと話していると、たいてい虐待した親でも責める言葉を失います。親たちも社会の歪みの犠牲者だと思える部分がある

現在の立場の故に、「同宗連」の「副議長」も担当しており、他宗教（者）との交流も深い。

四月中旬、その同宗連役員会のメンバーが、浜名湖近くの「方広寺」を訪問されたので、せっかくの機会だから夕食をと、取材の終わる頃に迎えに行った（仏教系二人、新宗教一人）。

食事には少し早く、小堀遠州作庭で有名な龍潭寺に行ったが、山門への道で「ここは庭の手入れが大変だな。一年間に三百万くらいかかるぞ。うちは、何千万だよ」とと俗っぽい話。

信仰（宗教）の所作

こんな言葉を交わしながら、本堂に入ったが、仏教系の方は当然と言えは当然だが、仏像の前では無言で合掌（両手ではないが、右手を胸の所に持つてきて黙祷）さ

普通の人がある所作の時には「僧」と化し、周囲との関係を明確に断つ。 私たちには、そういう所作はあまりなく、祈りにしても手の組み方は自由。

またカトリック教会の方が「十字を切る」所作があり、周りにはクリスマスチャンと分かる。大きな所作もなく、周りと変わらない姿勢が良いのかどうか。また何を以てクリスマスチャンたることを証しできるのかを、少しく考えさせられたことである。

(教団総会副議長 小林 眞)